

QDレーザ社: 大学発・カーブアウト型ベンチャー



会社概要

社名

株式会社 QD レーザ (英語名 QD Laser Inc.)

本社

東京都千代田区九段北1-14-17 三創九段ビル5F

代表取締役

菅原 充

設立

2006年4月24日

株主

グローバルイノベーションファンド(富士通系)

MVCグローバルジャパンファンド投資事業組合(三井物産系)



東京大学

共同研究による
技術発展

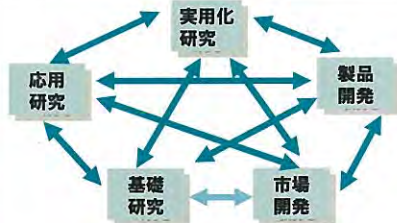
産学連携研究

株式会社
QDレーザ

富士通
/富士通研究所

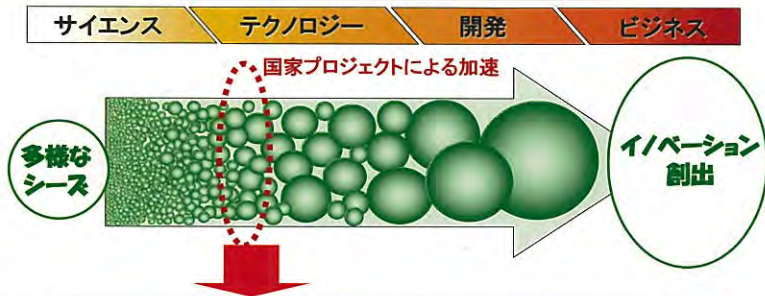
経産省・NEDO
の支援

技術の事業化

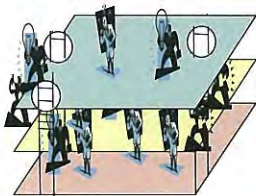


- ・コンカレント型研究開発の実現
- ・速いDecision making
- ・外部資金の調達

イノベーション創出に向けた産学官連携



サイエンス／テクノロジー／ビジネスの幸福な相互連携
～ビジョン・場所の共有と人材育成～



←富士通／三井物産：

QDLレーザ社の設立(06-)

←経産省「フットニックネットワークデバイス技術開発プロジェクト」(02-06)

←文科省ITプログラム「光・電子デバイス技術の開発」(02-06)

科学振興調整費 先端融合領域イノベーション創出プログラム(06-15)

次世代の電子制御型光ルータ装置の開発



10Gb/s
衝突回避
デモ

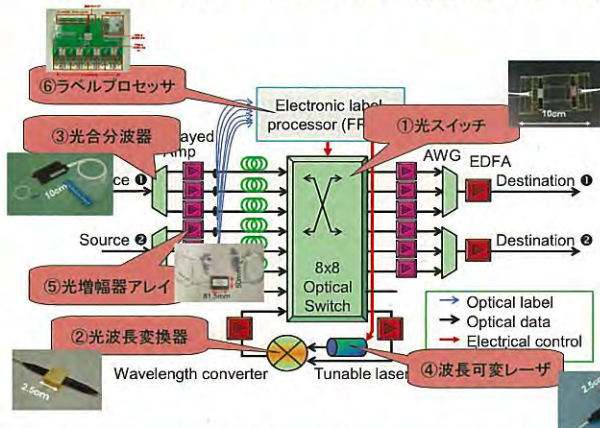
40Gb/s
ビデオ再生,
NetMeeting

- 従来の電子型と比べ1桁近く低い消費電力実現可能性実証により、エネルギー消費削減に貢献

複数ノードによる全光ネットワーク実証装置



キーデバイス・コンポーネント開発 光ネットワークノードプロトタイプ構築とシステム実証



サブシステム開発

東京大学(中野)

KDDI研

富士通

沖電気

デバイス開発

富士通

三菱電機

日立電線

古河電工

日本電気

各企業における長年にわたるデバイス
技術【ものづくり技術】の蓄積が成功に結実

米国アナハイムOFC 2007での動態展示



- 仏カンヌ ECOC 2006
- 幕張メッセ インターオプト2006
においても注目を集めた



・5000億円に迫る光ネットワークルータ機器世界市場へインパクト

- ・ **サイエンス、テクノロジー、ビジネスのシームレスな結合によるイノベーションを創出**
 - 我が国オリジナルの量子ドット研究を展開
 - QDレーザ社の設立に結実 → 「出る杭」をめざす
- ・ **次世代の電子制御型低消費電力光ルータ装置技術を開発**
 - ネットワークノード装置の低消費電力化に大きなインパクト
 - 各企業のものづくり技術の蓄積が重要。
- ・ **今後、長期的基盤技術戦略に立脚した産官学プロジェクトの推進がイノベーション創出の鍵。人材育成も重要**
 - (例) 科学振興調整費先端融合領域イノベーション創出プログラムの一つとして「ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構(東京大学)」において、新しい産学連携の姿を具現化。